



春だ ボランティアを始めるぞ! そんなあなたに...

おさらい! ボランティア入門



活動を始める前に...

情報を集める

ボランティアといっても、福祉や災害、国際、医療、まちづくり、環境など、さまざまな分野の活動があります。自分の興味があること、やってみたいことはどんなことなのか考えてみましょう!そして、『ボラみみ』をはじめとする情報誌やホームページなどで、いろいろな情報を集めることから始めましょう。



できる活動を選ぶ

無理なくできる、楽しくできる、長くできる、この3つの「できる」を基準に考えてみましょう!活動そのものや仲間との交流を楽しむ気持ちの余裕がボランティアの意欲を高めます。通いやすい場所での活動や、自分の空いている時間をあてられる活動を選ぶことも、ボランティアを長く続けるためのコツと言えます。



マナーとルールを守る

興味のある活動が見つかり、先方に連絡をとるときには、まず自分の名前を名乗りボランティアをしたい旨を伝えましょう!アポなしでの参加や先方の都合を無視して突然押しかけないように。

P5の「ボランティア初めの一歩 大切なマナー&ルール」も読んでね。



もしもの場合に備える

安心して活動するために、「ボランティア活動保険」への加入をお勧めします。この保険は、ボランティア活動中や活動場所への往復途中でケガをしまった、あるいは人にケガをさせてしまった、物を壊してしまった、そんな万が一の事故を補償する保険です。

掛金: 年間250円~590円(愛知県の場合)
加入できる人: ボランティア個人またはグループ、特定非営利活動法人
補償期間: 毎年4月1日から翌年3月31日まで
加入手続きや問合せは地域の市区町村の社会福祉協議会へ



活動を始めたら...

- ・できることから始めましょう
- ・相手の立場に立って考えましょう
- ・約束を守りましょう
- ・秘密は守りましょう
- ・周りの人との関係を大切にしましょう
- ・困ったときは相談しましょう
- ・安全に気をつけましょう
- ・時には自分の活動を振り返りましょう



『ボラみみ』の掲載団体から、「当日連絡もなく欠席したり、夜遅くに携帯へ連絡される方などがいて、困りました」「参加するか否かの返事が間際までもらえず、最終的には断りの連絡がはいることも...残念でした」といった声が寄せられることもあります。気持ちよく活動に参加できるように、マナーは守りましょう!

岩瀬文庫とわたし



へーさんより

さまざまなボランティアがありますが、まず参加してみることが大切でしょう。わからないことがあっても必ず先輩などが教えてくれるはず。心配せず、まず第一歩を踏み出しましょう。

ある日のへーさんの一日

- 11:00 岩瀬文庫集合。出発
- 12:15 愛知県立大学着。学食にて昼食
- 13:30 和装本講座の会場準備
- 14:00 講座開始。学芸員のアシスタント
- 16:15 講座終了。集合写真撮影
- 17:45 岩瀬文庫着。解散

岩瀬文庫の名前を初めて目にしたのは、多分小学生の頃でしょうか。土蔵の中にあった「岩瀬文庫図書目録(昭和11年刊)」でした。三河地震で散乱した和綴じの本を踏みつけながら、なぜこんな本がうちにあるのだろうと思っていました。

次に文庫を意識したのはずっと後の定年後で、土蔵に入るたびに本を整理しなければと思っていたときに、岩瀬文庫がボランティアを募集していることを市の広報で知りました。この時はさすがに岩瀬文庫が一般の図書館と違い江戸時代の古典籍専門文庫であると知っていましたので、参加すれば和綴じの本の修理方法が学べるかもしれないという打算的な気持ちが働いたのは否めません。

西尾市岩瀬文庫のボランティア活動は、文庫の蔵書が和装本中心であるため、切れた綴じ糸の交換と表紙の固い西洋本と違って和装本は立てて保管ができないのでその収納箱作り。文庫が企画する講座の受付や会場設営のお手伝い、体

験講座のアシスタント。企画展のポスター・ちらしの発送作業があります。

は四つ目綴じ・康熙綴じなど少々技術習得が必要ですが、先輩が指導してくれます。上記以外に、我々ボランティアの一大イベント「本まつり」があります。

「本まつり」とは10月27日の「文字・活字文化の日」にちなみ、毎年10月の最終土日に開催する“本のまち西尾”をアピールするお祭です。本をテーマとしたいろいろな催しがありますが、我々の企画は大人相手の「ミニミニ閲覧室」や子ども相手の「文庫の駄菓子屋さん」があります。駄菓子と本まつりと何の関係があるかって?そこを関係づけるのがボランティアの知恵です。文庫の蔵書からきれいな絵を選び、「岩瀬文庫蔵書ぬり絵」を作りました。もちろん江戸時代の代表的な和装本の綴じ方「四つ目綴じ」で和装本仕立てをして目玉商品としました。(好評売!)

岩瀬文庫のボランティア活動は文庫の学芸員のお手伝いを中心ですが、本まつりの企画など自主的な活動もあります。また江戸時代の料理本から一品再現した調理実習兼連絡会や研修旅行もあり、楽しみの一つになっています。

どの活動でも「都合のつく人が都合の良い日に参加」できることが大きな魅力でしょう。いろいろな人たちと和気あいあい、おしゃべりしながら活動できるのが一番の魅力ではないでしょうか。

『みんなで仲良く、力を合わせて!』が我々のモットーです。



「本まつり」終了後に。和気あいあいと力を合わせ、今年も大成功!